

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

「宝の議席」秋山県議の再選必ず！ 志位委員長迎え春日部西口に1200人

3月3日、春日部駅西口で志位和夫委員長を迎えておこなわれた日本共産党街頭演説会は、冷たい雨の中1200人を超える聴衆で熱気あふれる演説会となりました。



志位和夫委員長の応援を受ける秋山文和県議

社民党池田まさよ氏 「秋山県議推薦」報告

社民党県連副代表で、先の衆議院選挙の13区野党統一候補として奮闘した池田まさよ氏が激励に駆け付け「秋山文和県議の推薦を決めた」と報告しました。これを受けて秋山文和県議は「野党の一議席を何としても守り抜くために、激戦を勝ち抜く」を力強く決意表明しました。

統一地方選予定候補者の紹

介と、伊藤岳（埼玉選挙区）、梅村さえ子（比例代表）両参議院選挙予定候補者の訴えに続いて登壇した志位和夫委員長は、次のように訴えました。

増税ノーの声は 秋山文和県議に

「景気回復の暖かい風が吹いている」と年頭のあいさつで述べた安倍首相を「そんな風はどこにも吹いていない。吹いているとすれば、首相の頭の中だけ」と厳しく批判し、「実質賃金が減り、消費が冷え込んでいくことは首相自身も認めざるを得なくなっている。消費税10%増税の根拠が総崩れとなった今、増税はキツパリ中止すべきではないでしようか。」「それでもやるというなら、選挙で決着をつけようではありませんか」と訴え消費税増税ノーの声、憲法変

秋山県議の提案で 岩槻特支に35億円

埼玉県の財政規模は全国5位にもかかわらず、県民一人あたりの社会福祉費は45位、老人福祉費は46位、教育費も46位と最下位クラスで、県民の税金が大型開発に湯水のように使われていると告発。

その中で秋山県議は、春日部特別支援学校の過密状態を調査し、岩槻特別支援学校の再建を提案し、さっそく35億円の予算がついて実現させたと報告しました。「宝の議席、秋山県議の再選と引き続き参院選で日本共産党を大きく伸ばし、安倍政権を退陣に追い込みましょう」と締めくくりました。

秋山文和県議の提案で

春日部特別支援学校過密解消へ

春日部特別支援学校は1978年に開校された、知的障害のある児童生徒のため、小学部、中学部、高等部があります。

急激な生徒増加に 校内の設備は限界

近年、特別支援学校を希望する生徒・保護者が増加



教室不足のため、二つの学級が共同して使用している教室

傾向にあり、同校も開校当初の生徒数は144名だったのが10年前は255名、2017年度は329名と急激に生徒数が増えていきます。現在、教員は138名で3割が臨時的任用です。

教室数を増やすことに苦闘する現場



図書室を教室に転用したため廊下に設置された書籍

急激な生徒増加のため、教室を真ん中で区切り2学級で使う、図書は廊下に置く、校庭が狭く遊具が邪魔になる、障害児にとって大切な自立活動室は教室に転用せざるをえない状況になっています。

同校関係者は「今まで何とか工夫してきたが、さらに生徒数が増えたら設備の限界を超えてしまう」と語っています。

元岩槻特別支援学校 再建に38・5億円

秋山県議は、昨年9月県議会で「春日部特別支援学校には、さいたま市内の旧岩槻から約100名の生徒が通学している。岩槻区にある旧県立小児医療センター併設の、元岩槻特別支援学校の施設が今も残っている

ので、早急にここを改修して、過密解消をはかること」を提案。県教育長は「なるべく早急に検討を進めていきたい」と答えました。

その結果、新年度予算に200名程度の小・中・高等部の普通科(知的障害)の「県東部地域特別支援学校(仮称)整備費」として総額38・5億円(備品費を含む)が計上されました。開校は5年後の2023年の予定です。

困っている人にトコトン 寄り添う秋山文和県議

同校元教員の中山まりりさんは、「岩槻区に特別支援学校が開設されると聞き、子どもたちがのびのびと学び成長できる環境が改善されることを心から嬉しく思います。」と話しています。

大田のこぼり

市立医療センター Tel 735-1261 全国共通ダイヤル(大人と子どもの電話相談・医療機関案内) #7119

3/10(日) 宇野クリニック(小児科系) 粕壁1-6-5-2階 ☎760-3711

庄和中央病院(内科系) 上金崎28 ☎746-3122 小笠原医院(外科系) 新宿新田319-2 ☎746-0088

3/17(日) あゆみクリニック(小児科系) 大枝400-4 ☎731-3283

春日部内科クリニック(内科系) 備後東1-22-32 ☎738-6161 ようこ皮膚科(外科系) 大沼2-62-4 ☎612-3555